

科 目 名
専門英語 I English Structure Exercise I

3 年 前期 2 単位 選択

横 堀 肇

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1), 2-(1), 3-(5)

建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標		JABEE基準 1 の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	—	—	建築総合コース	選択	22.5時間
	A 4	a, b, c, d-1, d-2, g	建築計画コース	必修	
			建築構造コース		

【概要】

外国語の習得では日常会話などの基礎的英語（500語程度）を超えると、専門分野により語彙の塊が異なってくる。住宅・建築に関する「専門英語」も例外でない。基礎的な文法のもとで、専門分野で使用されている語彙の活用に慣れておくことが、大切である。特に近年は、英語をそのまま日本語の中で使用する場合も多いので、英語本来の発音や意味を理解しておくことは重要である。国際化の進展や、外国語が社会に氾濫するなかで、少なくとも自身の属する分野での、国際語である英語力の基本の確保は、重要である。

【到達度目標】

- (1) 英語に接する機会を創る。
- (2) 基本的な英文法に慣れる。
- (3) 住宅・建築分野の日本語の文献を読む。
- (4) その上で英文訳を読み上げる。
- (5) 内容について英語で簡単な質疑を行う。
- (6) 文献についての質疑をおこない理解を確認する。
- (7) (1)～(6) の内容で出てくる重要な住宅・建築関連英単語の意味を確認する。

【授業計画】

テーマ	内 容
① Land and Population、日本の国土と人口	国土について読解する。
② 同上	気候について読解する。
③ Housing Situation in Japan 日本の住宅事情	外部空間との関係について読解する。
④ 同上	典型的住宅地区 1 について読解する。
⑤ 同上	典型的住宅地区 2 について読解する。
⑥ 同上	住宅事情の現状について読解する。
⑦ 同上	住宅の規模・居住密度・設備について読解する。
⑧ Housing Policy of Japan 日本の住宅政策	住宅政策の基本的考え方について読解する。
⑨ 同上	日本の住宅政策の流れ（表）について読解する。
⑩ 同上	住宅政策の基本的体系について読解する。
⑪ 同上	住宅建設、ストックの有効活用について読解する。
⑫ Urban Renewal and Improvement of the Living Environment 市街地の更新と住環境整備	市街地再開発事業や住環境整備について読解する。
⑬ Land Supply、宅地供給	宅地供給の推移について読解する。
⑭ 同上	土地区画整理事業について読解する。
⑮ Evaluation、評価	⑧～⑭までの英文をまとめ、学生による授業評価をおこなう。

【授業方法】

和文と英訳文とが左右の頁に印刷された住宅・建築関係のプリントを配布する。学生を指名し、まず日本語を読ませ、内容の理解度を確認する。続けて対応する英文を読ませる。その上で、英語により、それらの文章についての内容の質疑をおこなう。

【学習到達度の評価】

- 1) 学生を指名し、テキストの各章ごとに日本語を読解させ、内容の理解を確認する。
- 2) 英語での音読のあと、英語で質疑を行い、英語での理解度を確認する。
- 3) 音読した学生以外にも授業中に質問をし、学生の理解度を確認する。
- 4) 定期試験後に講評を行う。

【評価方法】

- 1) 定期試験（100点）として評価を行う。各試験の正解率が 6 割に満たない場合は、再試験を実施する。
- 2) 定期試験時には学生自身による自己評価を行う。

【関連科目】

2 年：建築計画Ⅳ
3 年：地域・都市計画

【教科書・教材】

A Quick Look at Housing in Japan・日本の住宅 財団法人 日本建築センター

【履修上の注意】

テレビの英語番組を見るなどして、日常から英語に親しむこと。